

五
卷
期

六月十七日

大蔵省へ達

本野租税助始支那寧波税關規則並事務取扱方
取調濟ニ付英公使へ謝禮ノ書翰外務卿ヨリ差遣
候様可相達旨伺之通相達候間税關長官並品川
代領事へ申立之通其省ヨリ被下方可取計候也

大蔵省上中

當春二月中奉伺横濱税關在勤本野租税権助長岡大
属坂井中層御雇英人ウヲトッレ支那上海表税關
規則ニ事務取扱等為取調被差遣候ニ付全港及ヒ寧
波、港於テ税關長官へ依頼シ諸規則ニ取扱手續等
別冊ノ通取調候尚衆議取捨可致條ニ有之候ハレ
先差向必用、今翻譯致シ奉入御覽追々税關諸則ニ

三十七

十二

大蔵省上中

右ニ準シ尙取捨致シ改正可致見込ニ有之右上海税
関長官ト一マスチツキ儀ハ公務繁劇ノ中質問ノ件
々丁軍教諭ハ勿論其關係ノ書類若干ヲ取集メ傳習
致シ吳陸ノミナラス稅務諸課ノ官負懇切ニ接遇シ
實地研究出來候ハ全ク右長官ノ命令ニ出候儀ニ付
右全氏、御謝儀トシテ九金百五拾圓程ノ品物御輸
贈相成候様仕度尤彼地在留品川代領事諸般ノ事情
相心得居候儀ニ付右被遣候者ト之上港港滞在中ハ
勿論全港ニテ寧波港ハ最難事務取調候節ニ同伴イ
タシ事務ノ便利一方ナラス加之廣問ノ箇條等英文
ニ翻譯イタシ其盡力不勤ニ付御手當トシテ金貳拾
五圓被下候様致シ度奉同候尤最前彼國ハ出航ノ切
外務省ヨリ御國在留英國公使アタムス氏ハ申入レ

全氏ヨリ彼地在留領事ヲラハスル、依頼ノ添翰
昔差越吳候儀ニ付百般便宜ヲ得候間別紙ノ趣意ニ
當時在留英公使ウオットソンハ謝禮ノ一翰差遣候
様全省ハ御下命有之度此段奉申上候也 六月十三日
追テ別帳御一覽濟ノ上早々御差下有之度此段申
上候也 別帳ハ外務省ト
社儀ノ末ニ出ス
外務省ハ掛合 史官
本野租稅助始支那上海寧波稅関規則ニ事務取扱方
取調ノ儀ニ付大藏省ヨリ別紙ノ通申出候ニ付全所
長官ハ謝詞英公使ハ謝禮ノ書翰昔早々御取計有之
度候也 六月十五日

外務省回答 史官充

本野租稅助支那上海寧波稅関規則ニ事務取扱方取

調ノ儀ニ付今所長官英公使、謝禮ノ書翰可取計
百大蔵省書面被添御申越致承知候英公使へ、謝狀
ハ本省ヨリ可相達税関長官へ、謝禮ハ大蔵大輔ヨ
リ申送り相當ト被存候此段御報告申入候也
英國公使ア、ジロトサンへ贈翰 副書外務卿
以手紙致啓上候然ハ我本年中文那上海税関事務實
問トシテ租税補助本野盛亨外二負被地ハ罷越候節
先公使アタラス氏ヨリ被地在貴國領事アラバスル
氏へ御添書被下右御厚庇ヨリ盛亨以下被地滞在中
百事便宜ヲ得候ノミナラス税官長官トイマスデッ
キ氏ヨリ諸般ノ規則取扱手續等巨細教諭ノ度ケ且
其關係若干ノ書類ノ得候旨盛亨以下歸朝委御申立
其實地研究裨益不少儀ハ必竟アラドスル氏ノ厚

誼周旋ニ出儀、深ク感謝致シ候其旨今氏へ御傳謝
被下度此段可得御意如此御坐候以上

清國海關事例見聞録

税関雇士イ、ビ、ウアツトソ、井上大蔵大輔公へ清國
税法、可否ヲ論白スル書
謹テ同行諸員ト共ニ清國海關事例ノ見聞録及、版
行貿易表ヲ闡下ニ呈ス其見聞録、第一ハ海關事例
ノ大略第二ハ其細目也貿易表ハ海關監督インスベ
ルニ檢閲ニ經レモ、ニシテ其細目ニ貿易ノ事ヲ
掲ケ租税ノ額ヲ載スル等實ニ至要ノ書ト謂フベシ
故ニ此統計編集ノ一事ハ余ノ最著目注意スル所ト
ス又之ニ副ヘタル書式ハ總テ清國今現ニ用ル所
ノ者也

文庫
見聞録

海關規則

又茲ニ四科ノ規則書アリ其甲ハ港内規則乙ハ水導規則丙ハ水巡章程丁ハ燈臺及ヒ燈船章程是也此四科ハ總テ開港ノ租税ニ関スル故ニ全海關ニ屬シ其職ヲ奉ヌル也

各港海關ノ稅務ハ海關長道台清人之ヲ所轄シ海關副長外國人ニ之ヲ施行ス而シテ若干ノ屬吏内外人之ヲ輔佐スルナリ但其長ト副長トハ北京政府ノ直任トス

海關規則ト謂フハ一千八百五十八年ノ條約ヲ基本トシ通商ノ便利ヲ謀テ設立シタル者也
余カ勅勅廢問シタル旨意ハ必竟 皇國ニ相應スハキ良法ヲ得以テ之ヲ閣下ニ忠告セント欲シテ也只恐リクハ見聞ノ條件猶遺漏アリ閣下幸ニ諒察セ

ヨ

清國其通商ノ方法ヲ改革スル亦勦カラスト雖モ此見聞録中猶不良或ハ無用ニ屬スルアリ其餘件左ノ如シ閣下其之ヲ熟思ヤレ

其一 上海ニ於テハ出入貨物ヲ検査セス疑ハ物品此例

其二 且海關埠頭ノ外ヨリ之ヲ上下セシムルノ事

其三 貨物ヲ交付セシ時ヨリ三日以内ニ其税金ヲ

收納セシムルノ事

其四 海關ニ屬スル納屋ニ於テ貨物ノ包裝ヲ改造

セシムルノ事

其五 輸入納稅ノ時ヨリ十二ヶ月ノ間ニ再出スル

貨物ニハ其送稅証書ヲ附典スルノ事

海關長送稅ノ期限ヲ延シ更ニ三十ヶ月ト為サント

海關規則

其議未決定也。余案スルニ舊來ノ方法スラ業已ニ煩シ況々其期限ヲ緩サスルニ於テハ愈貨物ノ輸入ヲ滞慢スル容易ナラザルヲ又案スルニ假令此期ヲ延ルニ其益甚少シ如何トナレハ元價ノ利息蔵庫保險等ノ費用アリ故ニ此ノ如ク又ク貨物ヲ貯ル能ハサルナリ

清國ニ於テハ皇國ノ如ク貨倉ヲ設ケ以テ納庫シタル貨物ノ再出ニ限リ其税金ヲ返却セハ大ニ現今ノ煩累ヲ脱ルニ足ルヘシ十二月ノ期限ヲ定メ再出ノ返稅証書ヲ出スハ固良法タラサル明カ也

如何トナレハ此期限ヲ超過セザレハ全其貨物ノ關係ヲ脱レサレハ也

其五 火船帆船ノ別ナク噸稅ヲ課收スルノ事

商船ノ火輪ト風帆トヲ論メス其噸數ニ應レ四月毎ニ噸稅ヲ賦納セシム

余探スルニ此法甚偏頗也ト如何トナラハ火輪船十回往來スルノ間風帆船僅一回運瓶スルヲ得レハ也

試ニ船噸ノ稅額ト貨物ノ稅額トヲ比較スルニ逐年噸稅ノ減サセルハ全火船ノ増加シタルカ為也

譬ハ一千八百六十四年ニハ貨稅七百八十七万四千二百五拾兩ニ當ル船噸稅一圓及三分ノ一ニシテ噸稅ハ二十九万四千七百九十九兩也一千八百七十一年ニハ貨稅一千一百二十一万六千一百四十六兩ニシテ噸稅ハ二拾〇万四千七百九十八兩也則貨稅ノ増加スル三百三十四万一千八百八十九兩ニシテ噸稅ノ減少スル九千〇〇壹兩トス

左ノ條件ハ就中緊要ノ者トス乞フ閣下宜シク注目セヨ

其一 税金ヲ掠メタル罰トシテ其貨物ノ贖金或ハ

罰金ヲ命スルハ總テ海關副長ノ權ニシテ其贖金

或ハ罰金追徴セハ其百ヲ編集局ニ報シ以テ貿易

表中ニ掲載セシムル事

其二 各港海關各其長官アリ而テ之ヲ統轄スルハ

本省ノ權ニ歸スルノ事

其三 貿易表ヲ出版頒布スルノ意ハ畢竟逐年税額

ノ進増センヲ要スルニ出ルノ事

商人ノ正ト不正トヲ分別シ其正者ノ用ハ簡テ百ト

シ不正者ノ用ハ嚴テ百トレケ之ヲ處スルカ如キ亦

自不平等ニシト云ヒ難シ其餘記録ノ件々閣下或ハ之

ノ採用施行セハ皇國ノ通商ヲ便ニシ利益ヲ起ス當

ニ疑ヒ無カル可シ

海關屬吏内外人ノヲ探擧シ之ニ諸課ヲ分任スルハ

總テ副長ノ特權トス

其他官賃ノ等級及ヒ月俸トハ異日之ヲ再稟セント

欲ス 横濱一千八百七十二年七月一日租税中屬坂井保佐謹譯

清國海關事例大略 租税大屬坂井保佐再校

商船ノ入港

各國商船ノ進口シ来ルヤ海關副長デシヨアリシテ

トハ之ニ一個若クハ二個以上ノ監吏エイトヲ

派出シ以テ其載貨ヲ監護セシメ又港長ハトシテ

ハ之カ泊所ヲ指示シ以テ其碇ヲ下サシム

大正
陸軍
海軍
文書

其船全ク下碇シ了ラハ港長直ニ繫泊証書第一号ヲ
船長ニ附與ス船長ハ此証書ヲ海關ニ出シ副長ノ檢
印ヲ受ケ以テ碇泊中ニテ保持スルヲ例トス

船長ノ報告

商船入港セハ二十四時清番十二時下以内其來航ノ
趣旨ヲ自國領事若シ海關ニ報シ且之ニ船書
中ノ書類ナリ及送狀ルニ送狀ハ蓋其副書ナリ
收ルヲ法トス若四十八時ヲ過キ猶報告ヲ怠レハ每
日五十兩ノ一圓及三分ノ罰金ヲ課ス但此四十
八時ト曰フハ商船ノ港口ニ入來リタル時ヲ起リト
シ之ヲ算動ス毎日罰金ヲ賦スト雖其額ハ二百兩ヲ
批度トス

領事ノ報告

領事ハ船長ノ報告ヲ得タル時ヨリ二十四時ヲ限リ
トシ其船著港ノ日船中ノ人負船號船長ノ噸數船
倉ニシテ名發船港ノ名載貨ノ總額等第二号之ヲ
細記シ以テ海關ニ報知スルヲ例トス

輸入目録

輸入目録ハ本船ノ艙口ヲ開カサル前船長或ハ船倉
之ヲ海關ニ收ムルヲ法トス此目録ハ船長最注意シ
テ貨物ノ細目ヲ記載セサルヲ得ス如何トナラハ若
シ目録中些細ノ誤屬アルモ其條件ヲ校正シ得ルハ
之ヲ出シタル時ヨリ二十四時ヲ限リトスレハナリ
若シ又目録ニ欺詐ノ所為アレハ五百兩ノ罰金ヲ追
徴シ目録ニ脱漏セル物品アレハ之ヲ沒收ス
載貨ノ内他港ニ轉運スヘキ物品アリハ之ヲ分別シ

大正
陸軍
海軍
文書

大
文
庫
目
録

目録ヲ作ラシム

目録ハ船長ト船僮ノ兩個ヲシテ之ニ記名セシノ以テ海關ニ保存スル也

輸入願書

ミフツブリ、イシヨ、ン、フオ、ル、ホル、ン、ド、グ、

海關輸入願書ノ書式ヲ收受スルハ其船入港報告ヲ為シ輸入目録出シタル後トス

此願書ハ貨主ヲシテ書式ノサク貨物ノ記号箇數種類入量斤量及代價等ヲ明瞭記載セシム是海關ニ於テ統計編集シ易ランヲ要スル也

貨幣ノ輸入ハ願書ニ價及ヒ輸出港ノ名ヲ記入セシム

香港ヨリ輸入セル貨物ハ願書ニ外國産ナラハ其初輸出シタル國ノ名内國産ナラハ其初輸出シタル港

ノ名ヲ記入セシム

輸入願書ニハ船僮ノ交單

テリウエリ、イ、オ、ル、ド、グ、

交單、或ハ船僮カ加書シタル送狀、
テイ、ン、ク、交、單、ニ、代、ヲ、附、載、セ、シ、ム、但、此、交、單、或、ハ、送、狀、
ル、ヘ、キ、モ、ノ、ナ、リ、ヲ、附、載、セ、シ、ム、但、此、交、單、或、ハ、送、狀、
ニ、ハ、船、僮、輸、入、目、録、ノ、序、次、ヲ、違、テ、其、番、號、ヲ、附、ス、ル、ヲ、
例、ト、ス

海關願書ト目録ト照會シ條件全ク差異ナクシハ其

收納スヘキ稅券、
文、積、ヲ、貨、主、ニ、附、與、ス、稅、券、ヲ、附、與、ス、ル、
ハ、願、書、ヲ、收、受、

シタル時ヨリ二十
四時ヲ限リトス
貨主之ヲ以テ其稅ヲ海關銀行ニ
出スヲ例トス
收票ヲ出スハ稅券ヲ得タル

保佐曰清國收稅スル海關ハ常ニ自國ノ貨位ヲ以テ之ヲ算計シ政府ハ必ス之ヲ以テ之ヲ收納スルヲ法トスト雖ニ銀行ハ各國各種ノ貨幣ヲ問ハス

大
文
庫
目
録

本港自價ヲ以テ之ヲ兌換交換ス蓋良法ナリ

海關此收票ヲ得ハ直ニ其交單或ハ送狀ニ檢印ヲ捺
レ之ヲ債主ニ附與シテ其貨物ヲ船卸セシム若シ債
物ノ疑キハ其交單或ハ送狀ニ檢査ノ為海關埠頭ニ
輸送シ来ル可シト云ル印章ヲ捺ス但此印章アル物
品ハ一應之ヲ照檢スル也

船長ハ此檢印ヲ經タル交單或ハ送狀ノ始テ其船ニ
達スルヲ期シ船口ヲ開クヲ法トス

船長若シ此檢印アル交單或ハ送狀ヲ得スレバ漫
貨物ヲ船卸セハ其物品ヲ沒收シ別ニ五百兩ノ罰金
ヲ追徴ス

前件ノ事例ハ無稅品第四号ト雖トモ異ルナシ
輸入願書ニハ債主或ハ代人ニ姓名ヲ自記スルヲ

法トス
前件ノ法則ハ唯上海ニノミ行ル者ニシテ寧波及
其他各港ノ輸入願書ハ外國人ハ英文ト漢文ノ二通
ヲ出シ内國人ハ唯漢文一通ヲ出スヲ例トス而シテ
海關更ニ輸入免狀第五号ヲ作り之ヲ債主ニ附與シ
テ其貨物ヲ船卸セシム貨物ヲ陸揚セハ之ヲ檢査シ
以テ其稅額ヲ定ムル也

船貨ヲ一齊ニ卸却スルノ特許
商船規則ニ從ヒ序次運テ其載貨ヲ卸スハ固論ノ故
ト雖モ一齊ニ之ヲ船卸セント要セハ船會船長ニ
代リ其責ニ任スルノ証書第六号ヲ海關ニ出シ以テ
其船貨ノ特許ノ倉庫ニ陸揚スルノ特許ヲ受ルヲ法
トス而テ此特許アルヨリハ倉庫ハ本船々僱ハ船長

本港自價ヲ以テ之ヲ兌換交換ス蓋良法ナリ

海關此收票ヲ得ハ直ニ其交單或ハ送狀ニ檢印ヲ捺
レ之ヲ債主ニ附與シテ其貨物ヲ船卸セシム若シ債
物ノ疑キハ其交單或ハ送狀ニ檢査ノ為海關埠頭ニ
輸送シ来ル可シト云ル印章ヲ捺ス但此印章アル物
品ハ一應之ヲ照檢スル也

禁

ト見做レテ貨物ヲ交付スルノ事例ヲ踐行セシム但
之ヲ許可スルト許可セザルハ海關ノ特權ニシテ願
主敢テ之ヲ徴テスルヲ得ス

兵器ノ輸入

清國政府必需ノ外火藥大砲小銃其他諸般軍器ノ輸
入ハ之ヲ嚴禁トス

外國人若軍用物品ヲ内國人ニ賣居セント要セハ豫
其輸入ノ特許ヲ乞フヲ要ス特許ヲ得スレテ私ニ
兵器ヲ輸入セハ直ニ之ヲ没収ス假令其外國ニ再出
スハハ証アリ共決シテ之ヲ假借セザル也

輸出願書
輸出願書ハフブリイオン、フオー、ボル
第七式ニハ其貨物ノ記號個數種類入量斤
量及、代價等之ヲ細記スル一輸入願書ノ如シ亦是

海關編輯ノ用ニ充レリ為ナリ

香港ニ輪漕スル内地物産ハ更ニ外國ニ再出スルカ
或ハ内地ノ他港ニ舟入スルカ其之ヲ違ルヘキ地方
ヲ願書ニ記入セシカル也

輸出願書ニハ載筆
船長ニ先テレ貨物收受ノ証書ヲ
附載セシム此載筆ハ納稅
序次輸入ノ後檢印ヲ捺シ

之ヲ貨主ニ交換シテ其貨物ヲ船積セシム若シ貨物
ノ明瞭ナラサルハ其載筆ニ海關埠頭ニ於テ檢査ヲ
受テ可シト云ル印章ヲ捺ス此印アル物品ハ之ノ点
檢スルヲ法トス此檢印ナキ載筆ヲ以テ積送レル貨
物ハ之ヲ没収シ船長己ニ其貨物ヲ積入ルレハ別ニ
罰金ヲ違徴ス假令輸出願書ヲ出セシ後タリ共載筆
ニ檢印ヲ受テサル前船積シタル物品ハ之ヲ處置ス

禁

大正
三
年
三月
廿
九
日
陸
揚
ス
ル
ヲ
得
マ
ル
ト
ス

ル亦本條ト全一ナリ
船中故障アリテ再入スル貨物ハ先其許可ヲ得カレ
ル之ヲ陸揚スルヲ得マ
前件ノ事例ハ再出品第ハ号及無稅品第四ノ書式輸
ト雖之ヲ履行スルヲ要スルナリ
輸出願書ハ貨主或ハ代人之ニ姓名ヲ自記スルヲ法
トス
前件ノ方別ハ唯上海ニシテ行ル者ニシテ寧波其他
各港ノ願書ハ外國人ハ英漢両文ヲ以テシ内國人ハ
漢文ヲ以テセシム貨物ハ必ス之ヲ海關ニ輸送シ先
檢査ヲ受ケ次ニ稅金ヲ收メテ其輸出免狀第九号ヲ得
ルナリ

輸出禁品ヲ他港ニ回漕スルノ特許

外國ニ輸出スルヲ禁シタル内地產物ヲ内國ノ他港
ニ回漕スルニハ二箇ノ堅固ナル証人ノ保狀第十号
ヲ上呈スルカ貨物ノ満足ナル代價ヲ假納シテ其收
許ノ得ヌヲ法トス而シテ海關ヨリ其貨物ヲ遣ルハ
キ港ニ元タル回漕証書第十一号ヲ願主ニ附主ニ附
授スル也附主ニ

輸入港ノ海關副長此証書ヲ得ハ其貨物ノ陸揚ヲ許
シ更ニ証書檢印ヲ捺シ且固封シテ之ヲ願主ニ還與
ス願主之ヲ約束期限臨時之以内輸出港ニ還納スル
ヲ定トス
輸出港ノ海關其事例ニ悖ラス期限ヲ起カレハ曾
テ收領セル保狀ヲ廢却スルカ或ハ假納セル代價ヲ
返却ス

大
正
三
年
三月
廿
九
日
陸
揚
ス
ル
ヲ
得
マ
ル
ト
ス

兵器ノ貿易ハ固之ヲ禁制トス故ニ持列ノ允許ヲ受
ルニ非ルヨリハ容易ニ之ヲ海運スルヲ得ス
内國ノ一港ヨリ一港ニ輸送スル銅錢ハ無税ナリト
雖ニ必ス其保狀ヲ出カシム米穀ハ外國暹羅安南ノ
地ヲ指ス或ハ内國産ノ別ナク必輸出港ニ納税セシム故ニ輸
入港ノ關係ハ之ヲ輕易トス
前條ニ違背シタル物品ハ之ヲ没収シ且至當ノ罰金
ヲ課納セシムル論ヲ茲ス

船貨ノ移載

船移願書第十二号ハ之ニ貨物ノ條件ヲ記載スル
亦槩輸入輸出ノ例ト全シ
内國ノ一港ヨリ輸入シタル貨物ノ船移ハ一層注意
スルヲ要ス輸出禁品或ハ未納税品ノ恐レアレハナ

此願書ニハ例シテ交算或ハ送狀船賃ヲ加書ト載單
ニ付ル者トノ附載セシマル也

軍艦備用ノ物品ハ因輸入無税ニ屬スト雖ニ其之ヲ
船移スルニハ必告書ヲ出サシム
商船ヨリ倉船ニ移移ス貨物ハ輸入ト輸出ノ序次ヲ
併セ運レム

貨物ノ載残

輸出ノ免許ヲ得タル貨物若シ船内充塞セルカ爲メ
幾分カ之ヲ積殘サハ本船ノ出口セサル前其告書ヲ
出サシム但開闕中ナラハ直ニ其願書ト載單トヲ改
メ作ラシム
載卸ノ時限

貨物ヲ船積シ或ハ船卸スルノ時ハ通常日出ヨリ
日没ヲ限リトス此時限以外船卸スルノ免許
式ヲ乞ハ、其謝金ヲ示サシム其例左ノ如シ

日没ヨリ夜半ニ至レハ 拾兩

夜半ヲ過レハ 貳拾兩

日曜其他ノ休日ハ 貳拾兩

休日ノ日没ヲ過レハ 四拾兩

包装ノ改造 リール、パック、
キレ、ゲ

池港ヨリ回著シタル内地産物ヲ外國ニ再出スルカ
為其包装ヲ改造スルニハ左ノ序次ヲ遵テ其免許ヲ
與ル也

外國ニ輸出スル為納稅貨物ノ改色ヲ出願セハ一應
之ヲ検査シテ其免稅ヲ授與ス但變更ヲレテ之ヲ監

護、モシム

損傷物品ノ改色ニ亦先之ヲ点檢シ其情止カラ得テ
ルハ之カ免許ヲ與ル也

此序順ヲ經テ改色シタル内地産物ハ十二ヶ月ヲ限
リ其稅ヲ納メシテ之ヲ再出スルヲ得サレハ

此改色貨物ヲ再出スルニハ其額書ニ最初輸出シタ
ル日及、改色ノ免許ヲ得タル日等之ヲ詳記セシメ

且改色免狀ノ送附セシム

改色貨物若シ其入量過分アレハ始テ輸出スル者ト
見做シテ之ヲ處置ス又免許ヲ得スレテ恣ニ改色シ

タル貨物モ亦之ト全シ

改色シタル内地産物ノ内ヲ分割シテ之ヲ輸出セハ
改色免狀ニ其旨ヲ加書シテ再ヒ之ヲ貨主ニ交授ス

大正
文
庫

改包貨物、他物ヲ混シ其性質或ハ形容ヲ變シ及全
其品物ヲ接タル等皆之ヲ及收スル論ヲ裁ス
一旦改包シタル外國產物ハ免許ノ有無ヲ問ハス之
ノ再出ストモ運稅証書^ドヲ付與セシム又之ヲ内
國他港ニ回漕セハ改テ輸入港ニ納稅セシムルヲ例
トス

噸稅

噸稅^{トン}ノ^ノ子

各國商船ノ噸稅ハ火輪風帆ノ別ナク百五十噸ヲ起
ル者毎噸四錢^{兩十分一}、一^錢トス即四錢百五十噸
及其以下ノ者毎噸一錢^{三錢}、當^リテ以テ之ヲ
收稅セシメ噸稅証書ヲ船長ニ附與ス但其船此証書
ヲ受シ日ヨリ四個月間ハ内國何港ニ赴クトモ噸
稅ヲ收ムルニ及ハス

商船入港ストモ四十八時ヲ起ハス其艙口ヲ開
スレテ直ニ出口スルモノハ噸稅ヲ收ムルニ及ハス
ト雖モ四十八時ヲ過レハ必ス之ヲ納メシムルナリ
但此四十八時ト云フハ商船港界ニ進入セシ時ヲ起
リトス
商船貨物ヲ積卸セハ四十八時ヲ越ス直ニ其噸稅ヲ
上納セシム
假令載貨有稅ニ屬スル者ナク悉皆無稅ノ物品ノミ
タリモ其運賃ヲ收領シタル商船ハ噸稅ヲ收ムルノ
法トス但金塊銀塊或ハ外國貨幣ノミヲ積未ル者ハ
此例外トス
噸稅ハ總テ現金ヲ以テ之ヲ收納スルヲ法トス運稅
証書ヲ用エルヲ得ス但此等例ハ噸稅規則ヲ備見テ

可也

貨稅

輸入貨稅ハ其船印ニ當リ之ヲ收メ輸出貨稅ハ其船
積ニ臨ミ之ヲ納ムルヲ輸入及輸出願書ノ條ニ云ル
ヲ如シ

若シ貨物ノ入量或ハ代價ヲ誤リテ其稅ヲ過納スト
モ之ヲ改算スルハ納稅シタル時ヨリ二十四時ヲ限
リトス此期限ヲ超レハ其調査ヲ乞フトモ之ヲ採用
セス

輸入ノ物品其稅則ナクハ輸出ニ其稅目アラハ之ニ
照準シテ稅額ヲ擬定ス輸出ノ物品モ亦其儀之ト全
輸出及シ輸入共其稅則ナクハ物品ハ代價ニ應シ百分

ノ五ヲ課賦スル也

各港貿易稅

内地產物ハ内國他港ニ輸送スルニハ輸出港ニ其本
稅ヲ收メ且輸入港ニ其半稅ヲ納メシム之ヲ名ツケ
テ國內各港貿易稅ト曰フ但此貨物ニハ輸出港ヨリ
輸入港ニ充タル稅証^{グレイニ}ヲ附載スルヲ法ト
ス

保估按スルニ本條ノ輸出港ニ全稅ヲ收納スト曰
ハ蓋假納ナリ返稅証書事例ノ末章ヲ併セ見ル
可シ

内地輸漕稅

内外國人ノ別ナク内地ヨリ内國產物ヲ開港場ニ運
出シ或ハ開港場ヨリ外國產物ヲ内地ニ運入スルモ

ハ總テ道路、各關ニ其輸漕税ヲ收シム之ヲ稱シテ
内地輸漕税トス但外國人ニハ一時ニ貨税ノ半額ヲ
納ムルノ便利ヲ與ル也

外國人カ内地ヨリ開港場ニ運出スル内國產物ハ貨
主通路第一ノ関所ニ其額及ビ價之ヲ違ルハキ港等
ノ詳記シタル告書ヲ出シ貨物ヲ検査ヲ經且運出ノ
許狀ヲ受ルヲ例トス

貨主此許狀ヲ通路ノ各關ニ示シテ其貨物ヲ運輸シ
最後ノ関所ニ到ラハ之ニ貨物ヲ寄托シ更ニ許狀ヲ
以テ海關ニ半税ヲ上納シ税証ノ受テ之ヲ関所ニ出
シテ其貨物ヲ受取スルヲ法トス

開港場ヨリ外國產物ヲ内地ニ運入スルモ亦貨主海
關ニ其種類及ビ代價之ヲ輸入シタル船籍之ヲ運入

スハキ地方等ヲ細録シタル告書第十四号ヲ出シ貨

物ノ検査ヲ經半税ヲ收メテ内地運入ノ許狀ヲ受ル
ナリ

貨主此許狀ヲ通路ノ各關ニ示セハ貨物ヲ運輸スル
障リ無シ

商品ヲ運入シ或ハ運出スル者若シ前條ノ事例ニ違
背スルカ許狀ヲ得マシテ切之ヲ輸漕スルカ又ハ
許狀ノ額ヨリ過量ナル等皆其物品ヲ没収ス
此半額ハ之ヲ海關銀額ニ收ムル其例輸出入税ト異
ナラス

免税

商船采航ノ途中暴風或ハ不慮ノ困厄遭遇シ其載貨
ノ幾分ヲ海中ニ投棄シタルカ如キ船長ノ告書ニ應

大文頂典

方
田
典

レ船輸ヲ照檢シテ事全ク眞實ナルハ其貨稅ヲ免スル也

返稅証書 英名返稅及免稅証書 ルキヤセフイグイット

一旦輸入納稅シタル後更ニ外國或ハ内國他港ニ回

漕スル外國產物ニハ之ヲ其返稅証書ヲ與フルカ又

ハ之ニ其免稅証書ヲ附スルハ法アリ其例左ノ如シ

但其貨物ハ輸入シタル當日ヨリ十二个月ヲ超過セ

ス且形容ヲ變換セル者ニ限ル也

此再出願書 リ、ニキスボルト、ア、グ、リ、ケ、イ、ニハ其貨

物ヲ輸入シタル本人カ納稅保券 第十五号ヲ添ヘシ

ナルヲ定例トス又曾テ他港ヨリ再入シタル貨物ニ

亦其保券アルハ之ニ準ス

保估按スルニ本條故ニ輸入本人ト曰フ者ハ蓋シ

貨物ノ賣售スルニ從ヒ貨主ノ變更スルアレハナ

リ

又納稅保券ヲ要スルハ之ト返稅或ハ免稅証書ト

交換スルカ爲ナリ

再出願書及ニ納稅保券ニ記載スル物件全輸入品簿

レトシ、ト、ル、ス、フ、イ、ニ符合セハ之ト保券ニ其旨ヲ記

入シ以テ其貨物ノ再出ヲ免許シ而シテ外國ニ再出

スル物ニハ之ニ返稅証書ヲ附票シ内國他港ニ再出

スル物ニハ貨主ノ望ニ應シ之ニ返稅証書ヲ交換シ

或ハ免稅証書ヲ附載スル也

保估按スルニ他港ニ回漕スルモノニ返稅証書ヲ

與フレハ改テ其輸入港ニ納稅スル蓋シ論ヲ裁サ

レ也

本
文
類
典

明治
正
本
則

貿易税ノ收納シタル内地産物ヲ外國ニ再出スルモ
亦之ニ其返税証書ヲ附與ス但其貨物ハ形容ヲ變セ
サルカ免許ヲ得テ之ヲ改包シタル者ニシテ他港ヨ
リ輸入シタル當日ヨリ十二个月ヲ超過セズ且貨主
代換ストモ其輸入本人カ納税証書ヲ有スル者ニ限
ルナリ
保估按スルニ本條ノ返税ハ蓋シ其輸入ノ半税ナ
リ
外國ニ輸出スル目途アリテ豫メ其期限ヲ定メ假リ
ニ陸揚々ル内地産物他港ヨリ回着モ亦前條ニ準ス
内地ニ往復シタル外國産物其期限ヲ超へス且形容
ヲ變セシテ之ヲ外國ニ再出スルモ其返税証書ヲ
與フル也

保估按スルニ本條ノ返税ハ蓋シ其輸入ノ全税ト内
地運入ノ半税トヲ曰フナリ
既ニ貿易税ヲ納メタル内地産物ト雖モ若シ十二个
月ヲ過キテ再他港ニ回漕セハ改テ輸出港ニハ全税
輸入港ニハ半税ヲ納ムレハル恰モ初テ回漕スル者
ト異ナラス
保估曰ク本條全税收納ノ事其說貿易税事例中ニ
見ハタリ
輸入貨物ノ水傷シタルニ返税証書ヲ與フル其例左
ノ如シ
水傷貨物ヲ輸入セハ先其定則ニ照應シ定額或ハ從
價ノ税金ヲ收納シ後其物品ヲ公賣ニ附スルノ頭書
ヲ出サレメ以テ之ニ其免許ヲ與ルナリ

本
則

明治三十四年
勅令
第...

貨主此免許ヲ得テ其物品ヲ公賣セハ更ニ元價ト賣
値ノ差ニ應ニ算計シタル減税額書第十六号ヲ海關
ニ出シ以テ其返税証書ヲ請求スルナリ但此願書ニ
ハ元價賣値及ヒ其差且其差ニ應ニ返税ヲ要スル金
額等之ヲ記載スルヲ法トス
差税ハ其賣値ノ額ヲ以テ之ヲ算計シ公賣其他費用
ノ多寡ニ関セズ
損傷其他事故アリテ返税ヲ乞フモノハ必ズ其願書
ヲ出サシムル絶テ前條ノ如シ
日本産茶ヲ再炮スルガ爲ノ假ニ之ヲ輸入シ其本税
ヲ上納シタルハ之ヲ外國ニ再出スルニ當リ其返税
証書ヲ交付スル也但其所賣ノ減サスル百分ノ二十
ヲ限リトス

保估日ク本條ノ免稅証書ハ甲港ヨリ乙港ニ直達
セルモノニシテ敢テ之ヲ貨主ニ交附スルニヤラ
ザルナリ
免稅証書ヲ附載スルノ許可ヲ得タル後若船貨填塞
シ全其貨物ヲ積入ル能ハスレバ其内幾分ヲ積送レ
ルカ如キハ輸入港ニ於テ更ニ其相當ノ税金ヲ収納
スルヲ法トス而シテ其再納金額ノ返稅証書ハ輸出
港ニ於テ輸入港ノ確報ヲ得之ヲ附與スル也
免稅証書ハ之ヲ充タル該港ノ外他港ニ轉用スルヲ
得ス
返稅或ハ免稅証書ノ願書若シ過誤アリテ其餘件ノ
調査ヲ乞フハ之ヲ出セル時ヨリ三个日内ヲ限リト
ス此日限ヲ過レハ其改正ヲ許カス

太政官
勅令
第...

海關
稅則
條例

本船出港ノ免許ヲ與ハタル後ハ免稅証書ヲ乞フニ
之ヲ採用セヌ

總テ証書ノ類ヲ與フルニハ必本人ヨリ其願書ヲ出
サレハ又時トシテハ貨物ノ船積ヲ証スル為メ其送
狀ヲモ出サレム事アリ

海關ヨリ附與セル免稅証書ヲ以テ自餘ノ貨稅ニ充
テ之ヲ收納スル四條ノ法則アリ即チ左ノ如シ

第一 外國或ハ内國他港ニ再出スル外國產物ノ輸
入稅ヨリ起リタルモノハ唯輸出入稅ニ限リ之ヲ

收入ス
第二 内國他港ニ回漕スル内地產物ノ假納稅ヨリ
起リタル者ハ輸出入稅及ヒ半稅共之ヲ收入ス

第三 其半稅ヨリ起リタル者ハ唯半稅ノミ之ヲ收

入ス
第四 免稅証書ハ之ヲ交附セシ港ノ外他ノ港ニ收

ルヲ得ス
稅証 英名前
見ユ

内國他港・回漕スル内地產物ノ輸出入稅納証書ナリ
此証ナノレテ回著シタル物品ニハ本稅ト半稅ヲ併
課スルヲ法トス但此書ハ漢文也

保估曰ク本條ノ稅証ニ亦一關ヨリ之ヲ一關ニ直
達スル恰モ免稅書ト全シ

稅額ニ異儀アル者ヲ處置スルノ方法
各貨斤量ニ應シ稅金ヲ賦スルハ包裝ヲ除キ正量ヲ

以テ之ヲ算スルヲ大法トス
貨主若海關ノ秤量適當ナリトセハ雙方出會其個數

海關
稅則
條例

多寡。應ニ幾許個ヲ指出シラ之カ全量ニ包裝ト
ヲ試驗シ且之ヲ平均シテ其正量ヲ算スル也
各品元價ニ從ヒ税金ヲ課スル者元價伍下ナレハ海
關現值ヲ鑒定シ其現值ニ應シ之ヲ算スルヲ定例ト
ス
貨主若海關ノ鑒價過當ナリトセハ雙方各自二個若
クハ三個ノ鑒家ヲ揀擧シ以テ其貨物ヲ點檢シ且其
價ヲ投票セシメ其中其高値ナル取リテ之カ代價ニ
充テリ
貨主若猶此決價ニ應承レ難ハサレハ更ニ其領事ニ
告訴シ至當ノ處置ヲ請求スル敢テ妨テレト雖モ
決價ノ時ヨリ二十四時ヲ限リトス

沒收裁判ノ方則

規律ヲ犯シ或ハ奸曲ヲ謀リタル諸外國人カ所有ノ
船舶又ハ物品等之ヲ逮捕セハ直ニ其旨ヲ關長ニ
シトムス進出ニ報知シ關長其所為全不正ナリト
判断セハ副長ヲシテ沒收ニ決着スルノ旨ヲ本犯ニ
告示セシム此告書ニハ法則ヲ犯シタル件沒收ニ決
シタル理及ヒ若シ異論ヲラハ今日ヨリ第六日ノ午
前ヲ限リトシ且國領事ヨリ再按テ乞フノ書翰ヲ出
スヲ要スル旨等之ヲ記スルヲ例トス
本人自究罪也ト思惟セハ前條ノ日限中直ニ關長ニ
出訴解釋スル亦妨ケナレ關長其情ヲ憫諒レ以テ無
罪ト為セハ之ニ其船舶或ハ物品ヲ歸與ス
保佐按スルニ前條已ニ再按テ乞フノ例アリ本條
又直訴ヲ聽スノ說ヲ擧ケ蓋シ彼此相矛盾スルカ

如し蓋し此條ヲ刪去スルカ或ハ此例ヲシテ没収
決落ノ告書ヲ得ナル前ニ在ラシメテ可也

海關領事カ覆審ヲ要スルノ書翰ヲ得ハ關長ト領事
ト會裁スルノ日トラシテ雙方故障無レハ其日領事

本人ト証人ヲ得ヘテ海關ニ登會ス但關長或ハ領事
其日ニ臨ミ何等事故アリハ各代人ヲ撰任スレ亦妨

ケナシ審判ノ序次ハ先逮捕ノ監史ヲ辭シ次ニ本人
ニ及テ法トス而レテ反復其事ヲ推問シ明白其實ヲ

返答セシメ以テ雙方ノ口供トス但本人ハ其意ヲ領
事ニ陳述シ領事之ヲ辨説スルヲ例トスト雖モ監史

ノ申告其實ニ當ラト思ハレ之レニ直答スレ亦可
ナリ

關長ト領事各雙方ノ口供ニ記名シ且之ノ固封シテ

後一同裁聽ヲ遂去ス

口供ヲ論シ罪狀ヲ議スレハ關長副長及領事ノ聞
ノリテ餘人之ニ聞スルヲ得ス

關長ト領事ト罪科ヲ論議一定セハ關長直ニ之ヲ決
判ス但此會裁アルヨリハ本人ノ再訴スルヲ許サス

關長ト領事ト論議一決セサレハ各其口供ノ副本ヲ
以テ之ヲ北京ノ海關總督インマベクトト公使トニ

上控シテ其審判ヲ乞フヲ法トス

北京上官ノ審判ヲ需ル必ス幾多ノ日月ヲ費カ、ル
ヲ得ス故ニ本人トリ他日京官カ決判ノ如ク其罰ヲ

蒙ルヘキ旨ノ誓書ヲ呈シ且相當ノ證金ヲ求メハ將
其没収物ヲ交附ス但此証金ト曰フハ即没収物ノ
贖金ナリ本人証金ヲ納ハルヲ肯先セカレハ其没収

物ヲ海關ニ保蓄スル論ヲ裁ス

海關總督ト公使ノ審判ニ依リ若本人無罪ニ歸スル
此事件ヨリ起リタル損失ハ之ヲ海關ニ歸ルヲ得ス
又海關沒收物ヲ還典スルニ當リ假令其損傷アルヲ
見出スルコトハ償ハサルヲ法トス
條約ニ其額若干兩ニ超ユ可ラスト獨載セル罰金ハ
領事免狀其額ヲ減セシムルノ理アリト雖單狀確証
アリ罰金免額アリテ之ヲ控メ可カラシ者ハ領事
ノ異議ヲ容ルヲ許サス

出港ノ報告

商船出口セント要セハ先船長及船僮カ各自記名セ
ル輸出目録イカトロドニ海關ノ檢印アル各貨ノ
交單及載單ヲ添ヘ之ヲ海關ニ出シ以テ出港免許ヲ

己フコト例トス此輸出目録ヲ出シタル後若シ載殘貨
物アラハ船僮ヲシテ之ヲ改正セシム

海關其輸入及輸出目録ノ遺誤無ク且噸税及貨
物ノ遺漏ナキヲ逐一査照シ每件全ク差違ナシハ
船長ニ出港免狀ヲ交付ス船長此免狀ヲ其領事ニ示
シ始之ニ假納シクル船書ヲ得以テ起碇開航スルヲ
法トス

船僮ノ誓書ヲ出シテ一齊ニ載貨ヲ陸揚シソル船其
出港報告ニ臨ミ猶大綱税貨ヲラハ更ニ船僮ヲシテ
必其貨税ノ公納スルノ証書書十七号ヲ呈サシム但
此ノ如キ船ニハ通常ノ出港免狀ヲ附與セズシテ列
ニ一封ノ書翰書十八号ヲ領事ニ送シ其船書ヲ還與
セシムルナリ

出港免狀

領事若海關ノ出港免狀ヲ檢閲セシテ漫ニ船書ヲ
 交付セハ其船ノ噸稅或ハ貨稅ノ違漏ヲ辨備スルヲ
 法トス
 商船出港免許ヲ得タル後監吏ノ其船内ヲ檢査シ或
 ハ河内ノ一港ヨリ一港ニ往來スル船舶ハ監吏ノ之
 ヲ監護スル等海關ノ權ニ在リテ船長之ヲ拒ムヲ得
 ス
 内國他港ニ赴ル商船ニハ其載貨ニ屬スル免許証書
 或ハ納稅証其他何等ノ書類ヲヒ固封シテ之ヲ船長
 附托ス船長其任シテ港ニ到著セハ開船ノ免許
 ヲ乞ハサル前之ヲ海關ニ呈スルヲ例トス
 出港免許ヲ得タル商船若再積物ノ載卸ヲ要セハ改
 シ入港報告ノ事例ヲ踐了セシムル也

開關時間

日曜又ハ祝日ヲ除クノ外平日午前十時ヨリ午後四
 時ヲ限リトス但中飯時間ハ十二時ヨリ一時ニ至ル
 也

清國海關事例大略終

附録

上海海關事務ノ分課

陸揚又ハ船移免許ヲ專任トスルハ輸入課
 トス
 返稅或ハ免稅証書及ヒ稅書ヲ專務トスルハ返稅課
 トス
 噸稅貨稅其他收納事務ニ擔當スルハ收稅課
 トス
 輸入輸出目錄及入港出港證書ヲ責任トスルハ出港課
 トス

通常ノ願書或ハ告書ハ本人ヨリ課目ニ應ニ請負ニ
出カレ、船載目録ヲ改正ニ或ハ定限時外船貨ヲ載
卸スル等非常ノ願書ハ直ニ之ヲ副長ニ呈スルヲ例
トス

清國海關事例細目

租稅大屬及井保估并校

港長カ毎日入港セル商船ノ泊所ヲ指示シ且ツ之
海關ニ報知スルノ事例ハ第十九号ノ書式ニ詳カナ
リ
海關領事ヨリ入港報告ヲ得船長ヨリ輸入目録ヲ收
ムレハ六區ニ分界セル漆板ニ其船牌ヲ記シ且ツ序
次ヲ述ベ之ニ番號ヲ命スルヲ例トス但六區トハ暎
味喇美利堅佛朗西日耳曼支那及ヒ各國ヲ別タナル

者是ナリ

輸入課ニ置備スレ進口船録ニハ其入港ノ日船牌國
名領事ノ報告ヲ得タル日輸入目録ヲ出シタル日及
碇泊場等之ヲ騰抄スルナリ

輸入課輸入願書ヲ收受セハ之ニ附貳セル交單或ハ
船貨
ト加書レタル送状ト其輸入目録トニ照會シ條件符
合セハ交單ニ官印ヲ捺シ之ト願書ニ勘合シ且該貨
其印面ニ記名スレ也

輸入課交單ト願書ト勘合セハ直ニ其船牌願書ノ番
號輸入人ノ名税額及ヒ船印シタル日等之ヲ輸入品
簿ニ騰記スレト例トス但此系簿ハ則出港ヲ本船ノ
出港報告ヲ得ルニ當リ其輸入目録ト照應シ且他日
其輸入願書ヲ搜索シ易カラシムルヲ爲メニ設ケタ

狀文類

タル者ナリ

輸入願書、其左肩に類書ノ番號ヲ附シ且船名、所
ニ本船ノ番號ヲ記シ以テ之ヲ水税課ニ送ス水税課
願書ニ税額ヲ算當記入シテ之ヲ分科内國送ル分
科之ヲ檢算シ差違ナクハ漢文ノ稅券ヲ作り願書
ト共ニ之ヲ本課ニ送ク本課稅券ノ左肩ニ類書ト曰
一ノ番號ヲ附シ且紙頂ニ英文ヲ以テ其稅額ヲ記シ
テ之ヲ輸入課ニ回ス但英文ノ稅額ハ是レ漢文ノ對
譯ナリ

輸入課交單ニ稅券ヲ添ヘ之ヲ貨主ニ與ヘテ其貨稅
ノ輸入ヲ許スナリ

貨主ハ稅券ヲ受クタル當日ヨリ三日内之ヲ海關
境内ニアル銀行ニ附シ其税金ヲ収メ且收票ヲ得テ

之ヲ水税課ニ出ス但收票ニハ銀行其右肩、稅券ノ
番號ヲ附シ蓋各書此ノ如ク同一ノ番號ヲ命スルハ
他ナレ其檢索ノ便ナランヲ欲シナリ

貨主收票ニ出スニハ必ス其平常收稅ニ用ル手冊ヲ
添ヘ之ニ水税課員ニ記名ヲ請フ例トス但此手冊

ハ貨主自記ナルニ其月日船號及ヒ金額ヲ以テス
ルナリ

水税課收票ヲ得ハ輸入稅簿レトシテ其額ヲ記スルハ
書式ニ其稅額及ヒ之ヲ記入シタル日本稅或ハ半稅

且其現金ト送稅証書トヲ分別登記スルナリ
上海ニ於テハ貨主ノ信ス可キハ其稅ヲ收メスレテ

直ニ交單ニ檢印ヲ捺シ以テ貨物ヲ引取ラシムル
寛法アリト雖モ其信ス可キナルハ之ニ「検査」為深

水
稅
簿
檢
査
手
冊

海關
規則

関埠頭。輸港に來ル可シト云ル別印ヲ捺シ以テ其
貨物ヲ船卸セシムルナリ

海關埠頭ニ陸揚セシ貨物ハ検査課監吏ノ分課局之
埠頭ニ在リ

ヲ視閲シ件々全ク正當ナルハ貨主ニ附スルニ檢証

第二十一ヲ以テス貨主之ヲ輸入課ニ出シ税金ヲ收

メ且交單・檢印ヲ受ケテ後其物品ヲ引取ルヲ得ル
ナリ

保佐曰ク検査ス、キ貨物ハ輸入課豫類書ノ副本

ヲ検査局ニ送スル也

又曰ク検査課貨物ヲ點視シ若シ入量或ハ元價相

當ナラザレバ自ラ輸入課ニ至リ其事實ヲ辨スル
也

無税或ハ内國他港ヨリ免稅証書ノ添ヒタル貨物ノ

輸入類書及ヒ船移類書ニ之ヲ輸入品簿ニ記載シ且

無税品簿レダハトル、ス、デユテニ騰鈔スル

ヲ例トス但シ無税品免稅品及ヒ船移品ヲ分別スル

ナリ

此無税品簿ハ有税品ノ輸入稅簿ノ如キ者ニシテ其

交單ニ檢印スルハ有税品ト異ル無シ

有税品ノ交單ニ檢印シタル當口ヨリ三日以内ニ其

税金ヲ上納セシムル者ナレバ納稅課ニ催徵狀簿ニ
付ス

書式ヲ與ルナリ

輸出課輸出類書ノ收受セ、之ニ附貳マシ載單ト查

點シ條件齟齬セザレバ其細目ヲ輸出品簿レダハトル、ス、
ト

ルニ添付シ品簿ノ意ト全シニ騰記シタル後類書

ヲ收稅課ニ送シ收稅課類書ニ稅額ヲ集計記載シ之

水
文
類
典

海關
規則
附則

其稅券ヲ添ヘテ輸出課ニ運ス者其序次總テ輸入ノ如シ

輸出稅稅券ヲ貨主ニ與ヘ、貨主之ヲ以テ其稅ヲ海關

銀行ニ収メ且收票ヲ得テ之ヲ收稅課ニ出ス收稅課

納稅ノ條件ヲ輸出稅簿ニレシメ、レシメ、オフ、キ、ボ、ト、

式ニ騰寫スル者亦輸入事例ト異ラス

各課各書ニ全一ノ番號ヲ命スル亦輸入ノ如シ

輸出簿乃其載單ニ捺印シ之ヲ貨主ニ附與レテ貨物

輸出ノ免許スルナリ

輸出費稅ハ船積免許ヲ與ル前之ヲ收メシムルナリ定例

トス

外國或ハ内國他港ニ舟出スル貨物ハ之ヲ輸出品簿

ト舟出品簿ニシテ、ト、オ、リ、エ、ス、ボ、ル、ニ捺印ス

ル輸入ノ無稅品類ト同例ナリ

内國他港ニ輸渡スル貨物ハ内外國至ノ別ナク輸出

目錄、如キ回漕目錄第ニ十六ヲ作り其回漕公使ノ

以テ之ヲ輸入港ニ送スルナリ其之ニ記載スル件々

ハ本船ノ名各貨ノ個數種類ノ量斤量輸出入ノ名及

其品免稅証書或ハ稅証ニ屬スルカ或ハ返稅証書ヲ

與、タル等是レリ但此貨録ヲ設ケルハ出入向港ニ

於テ船長ヨリ出セル船載目錄ト查照スル便ニシテ

且益アレハナリ

輸入港ニ於テ若シ此回漕目錄ト其輸入目錄ト個數

ノ符合セザル貨物アレハ輸出港ニオイテ殘載シメ

ル者ト雖モ改テ其輸入稅ヲ收メシムルヲ法トスル

ナリ

海關
規則
附則

外國或ハ内國他港ニ再出スル外國産物ノ返稅証書
及ヒ免稅証書其始ラ外國ヨリ輸入シタル港ニ於テ
其之陸揚シタルヨリ起原トシ十二月ヲ限リテ
之ヲ交換シ或ハ之ヲ附載スルナリ但内國他港ヨリ
再入シタル品ヲ再出スル者内國他港ニ再出シタル
品ヲ再々入シ又之ヲ再々出スル者其他各港ヲ出入
シ内地ニ往還シタル者等ノ如ク國內轉輸シタルヲ
論セラルナリ

保估曰ク本條外國ニ再出スル者ハ返稅証書ヲ
交付シ他港ニ再出スル者ハ免稅証書ヲ附載ス
ルヲ通例トスルナリ
前條証書ハ期月ヲ經過シタル者輸入人ノ納稅保券
ヲラカル者其形容輸入ノ時ト變リタル者及ヒ其包

紙ヲ改造シタル者等皆之ヲ附載セヨルナリ故ニ其
類書ヲ得ハ此等ノ條件ヲ注意著目スルヲ專務トス
ルナリ

各港賑漕ノ内地産物モ亦前條ニ準スルナリ
返稅証書及ヒ免稅証書ノ事ニ就テ假令何等ノ異論
苦情アリモ畢竟其與奪ノ權ハ關長ノ手ニ在リ故ニ
類至其命ニ應ヒ確然タル左証ヲ呈セカレ得ナル
ナリ

返稅証書ヲ交換シ或ハ免稅証書ヲ附載セハ輸入品
簿ニ其條則ニ何月幾日全數若クハ其内若干再出セ
レメタル旨ヲ記入スルヲ例トス但此原簿ハ之ヲ轉
入課所屬ノ内中ニ保有スルナリ
一旦輸入品簿ニ再出ヲ記入セル貨物ハ他日之ニ擬

レ其再出ラ請求ス共之ヲ採用セサルナリ
 返稅証書ノ書式ハ其普通ニ係ル者第二十七號其過
 細ニ屬スル者ハ第二十八號其損傷ヨリ起ル者ハ第
 二十九號ノ如シ
 返稅課此等ノ返稅願書ヲ收没セハ先之ヲ輸入品簿
 ニ契應シ其條件全符合スルニ於テハ願書ニ捺印シ
 之ヲ分科関長ノ委任ヲ受ケタル内閣官員ニ送ル分科之ヲ檢閲シ聊
 カ疑念ナケレハ其返稅証書ヲ作り之ト願書トヲ本
 課ニ回スヲ例トマルナリ
 第二十七號第二十八號及ヒ第二十九號ノ書式ニ係
 ル願ハ之ヲ合綴簿冊トシ以テ返稅課ノ備用ニ充レ
 ナリ但此等ノ願書ハ之ヲ得ル毎ニ其副本ヲ海關長
 局ニ送リ以テ異日算計ノ左証ニ供スルナリ

輸入稅納外國品ノ内國他港ニ再出スル返稅簿ハ第
 三十號ノ書式ノ如ク其外國ニ再出スル返稅簿ハ第
 三十一號ノ書式ノコトシ
 貿易稅領納内國品ノ内國他港ニ再出スル返稅簿ハ
 第三十二號ノ書式ノ如ク其外國ニ再出スル返稅簿
 ハ第三十三號ノ書式ノ如シ
 過納或ハ損傷ニ關スル返稅簿ノ書式ハ第三十四號
 ノ如シ
 以上五本ノ返稅簿ハ則返稅課ノ備用ニシ其返稅証
 書ヲ附與スル毎ニ願主ヲレテ簿中ニ記弔セシメ以
 テ取票ニ充ルナリ但此各簿ハ他本ヲ借ラヌレテ其
 用ヲ辨シ得ル也
 各港回漕証簿ノ書式ハ第三十五號ノ如シ稅証或ハ

免稅証書ノ原簿ニシテ其之ヲ作ルニハ願主ヲシラ
簿中ニ記入セラルル亦前條ト同シ
内地運入証書ノ書式ハ第三十六號ノ如シ亦其証書
ヲ附與スルニハ貨主ヲシラ之ニ記名セラルル也
以上二本モ亦返稅課ノ所轄ニシテ各本其用ヲ辨ス
ルキ者也

出港課商船出港ノ報告ヲ得ハ之ト共ニ輸出目録及
各貨ノ交單ト載單トヲ收入シ且輸入課ヨリ輸入目
録ヲ領取シ以テ各書符合スルヤ否ヲ查察シ諸稅收
細目レヤ否ヲ點檢スルナリ
出港免許ノ船若貨物ノ載殘マラハ輸出目録ヲ改正
セシムル論ヲ殊スト雖領監吏ハ其殘額ヲ手記レ以
テ之ヲ出港課ニ報スルヲ例トスル也

出港課商船ノ出港ヲ免許セハ直ニ之ヲ出口目録第三十七號

ノ書式ニ記シ以テ副長ニ報シ其記名ヲ受ル也
此出口目録ニハ輸入輸出ヲ分別シ其稅額ヲ記載ス
但此稅額ハ海關銀簿ノ收票總計ト符合スル者也
各船ノ稅額ハ其出口スル毎ニ之ヲ編輯局ニ報知シ
以テ收表ヲ釐造セシムルナリ

保估曰ク噸稅及貨稅ノ收額ハ每三個月每一ヶ年
之ヲ通計シ其表ヲ頒布スト雖ニ其原本ハ各船ノ
輸入稅簿ト輸出稅簿トニ在リ蓋其意某船ノ輸入
稅ハ幾何某船ノ輸出稅ハ若干タルヲ知リ且其輸
入目録ト輸出目録トニ照應レテ諸稅ノ漏脱ヲ防
クニ利アル慮リテ也
一船出港ノ後番籍ノ序順ヲ逆テ輸入願書ハ之ヲ輸

入簿帳 第三十八号 式 輸出類書ハ之ヲ輸出簿帳 第三十九号 式 綴入シ且其簿面ニ書式ノガノ本船ノ條件ヲ添記スルナリ

輸入及輸出ノ願出ハ之ヲ分別シ輸入ハ第一有税品輸入願書第二無税品輸入願書第三松移願書第四再入願書トシ輸出ハ第一有税品輸出願書第二再出願書トシ其合本ヲ綴作スルナリ
入港日誌ハ第四十號ノ書式ノ如ク出港日誌ハ第四十一號ノ書式ノ如シ此日誌ハ毎日編製ノ為出入船相ヲ記シ之ヲ編輯局ニ送スルナリ
鑿本物品ハ輸入課ヲシケ之ヲ司ラレノ千品万種得ルニ從ヒ之ニ其鑿本ヲ備ル也
輸入或ハ輸出物品ノ願税・就キ異論アルハ貨主ヲ

シテ副長ニ其詞狀ト鑿本トヲ呈サシ副長其事容易ナラカレハ
易ナレハ直ニ之ヲ判決シ若シ其事容易ナラカレハ
數家ノ良善ナル鑿家ヲシテ價位鑿定セシメ以テ其
税額ヲ新立シ且其鑿本ヲ置備スルナリ
一旦税額・定リタル物品後日之ヲ輸入或ハ輸出セ
ハ前日ノ鑿本ト照應シ種類同一ナレハ其定額ニ從
テ納税セシムルナリ

前除税位ノ新定セハ直ニ其事實ヲ税額新定貨簿
ノ書式ニ記録スルナリ例トス其條件ハ品種輸入人名
輸入船名又ハ其番號決論ノ日鑿家新定税額及ヒ其
税則ノ百分其他定額納税ト決シタル説話等是也
定額税位五ヲ離シ以テ從價納税ト為ス者ハ之ヲ從
價納税貨簿 第四十三号 式ニ騰記ス其録事ハ税額及ヒ税

水
文
類
典

類
別

則ヲ除ク、外紙ヲ前條ニ同ク其他從價納税ト判
タル論等是ナリ

此二個、簿冊ハ英文ト漢文ヲ以テ之ヲ對記レ以テ
内外官貨ノ記録ニ充ル也

保佐曰ク此鑿本ノ置備レ其税額ヲ新定ナル税目
事ナル毎、立テ異論日ヲ透ラ減スルヲ得蓋シ良
法也

清國海關事例細目終

第壹章

碇泊証書

國 船本局ノ指令ニ從テ港内ノ位置ニ

投錨シタルヲ証ス

上海一千八百七十年 月 日

港 長

國 船港長ノ免許ヲ得テ港内ノ位置ニ

碇泊シタルヲ諾ス

上海一千八百七十年 月 日

關 長

第二節

入船報告

第 號

船

船長

噸數

船價

發船港

太
文
類
典

載貨誌頭

右ハ我國商船ニシテ其船書ハ之ヲ當領事館ニ收領セリ是報ス

上海一千八百七十年 月 日

國領事

海關副長 實下

第三號

海關第 號

輸入

ヨリ未稅セシ

船ヲ以テ輸入シタル

左件貨物ハ陸揚ヲ免許シ且其税金ヲ收入セシムルニシテ

上海一千八百七十年 月 日

貨主

海關副長

記號	箇數	種類	入量	元價	相下	斤量	此稅海關記入

第四號

海關第 號

輸入輸出兼用

無稅品

左件貨物ノ檢印シ其陸揚ヲ免許セン

太文類典

上海一千八百七十年 月 日

貨主

海關副長

責下

記號 箇數 種類 元價 事由之辨

第八節 第九節

輸入免狀

ヨリ來者シタル

貨主

那

種類 箇數 入量 斤 量 担 斤

此免狀ハ本船出港ノ報告ニ當リ之ヲ海關ニ送納スルヲ要ス

上海一千八百七十年 月 日

海關

第六節

別紙 船輸入目録ノ各貨本船出港準備ノ

為一齊之ヲ 商社ノ倉庫ニ移納スルノ特許

ヲ乞フ

海關ノ檢印有交單ヲ得ヌレテハ假令一個ノ貨物ヲ

太文須典

海關稅則

リ共決シテ之ヲ交付マカル可シ是摺ノ
上海一千八百七十年 月 日

船長・代リテ

船 倉

海關副長 費下

海關檢印、交單ヲ得カレハ其貨物ヲ交授ス可カラ
カルヲ諾ス

於 商社、倉庫

一千八百七十年 月 日

監 倉

第七節

海關第 稅

輸出

ニ發航スル 松ヲ以テ輸出ス可シ
左件貨物ノ税金ヲ收入シ且其船積ヲ免許センコト
是ニ付

上海一千八百七十年 月 日

貨 主

海關副長 費下

記號	箇數	種類	入量	元價	片量	此稅	海關記入
					担斤	兩	錢分厘

第八節

海關第 稅

海關稅則

出納簿

再出

＝發向スル

船ヲ以テ再出ス可キ左

件貨物ノ船積ヲ免許シ且之ニ其ヲ附載センテ之

ヲ

上海一千八百七十一年月日

貨主

海關副長

責下

記號 品名 種類 入量 斤量 担 斤 元價 輸入人 輸入船 輸入日

第七號

記號	品名	種類	入量	斤量		元價	輸入人	輸入船	輸入日
				担	斤				

第八號

輸出免狀

＝發向スル

號

船主

種類 箇數 入量 斤 担 量 斤

此免狀ハ本船出港ノ報告ニ當リ之ヲ海關ニ送納ス

ル

上海一千八百七十一年月日

海關

第十號略之

大文頭

大正十一年
五月
...

第十一号

第 號

貨主

船

第 號

運貨港

期 限

假納金額

貨物

此量

此價

上海一千八百七十年 月 日

證書 延期ノ日
取戻ノ旨

每 租

每

此船是... 貨主...

第 號

貨主

カ願ニ應シ本港ヨリ第

ルヲ許ス

此証書ハ今日ヨリ

港海關、檢印ヲ受ケ以テ本港海關ニ返納ス

ル、要ス

上海一千八百七十年 月 日

海關副長

大正十一年
五月
...

海關
茶
類

記號 番號 箇數 斤量 種類

第十二節

海關第 號

船移

ヨリ來管ノタル

船ヨリ左件ノ貨物

ニ發回スル

船ニ積移ス為其交單

ノ發單ノ檢印ヲ是元フ

上海一千八百七十年 月 日

貨主

記號 箇數 種類 元價 事由之辨

海關副長 夏下

第十二節
第十三節

茶 類

左件ノ貨物ハ予已ニ其輸入稅ヲ收メテリ故ニ此保
 券ヲ有スル者若シテ再出セハ之ニ其稅証書ヲ附
 與セシテ是元フ

上海一千八百七十年 月 日

文
類

海關書類

輸入主

記號	箱數	種類	海關副長 費下		輸入主	輸入日
			斤量	元價		

此内再出
願主ノ自記
海關申書
檢査ノ記

入量	種類	箱數	第十六号 水傷貨物運送稅願書		種類	箱數	種類	入量	元價	公費ノ高低	損失ノ金額	損金ノ差分	返稅ヲ要スル金額	上海一千八百七十 年 月 日	貨主
			ヨリ	船ヲ以テ輸入シタル											

海關副長
貴下

第十七號

海關副長
貴下

火輪
セヨリ一齊卸了レタル各貨ノ内猶其稅
ノ納ラサル者有リト雖必貨主ヲシテ速ニ之ヲ収
レム可ク若其之ヲ怠ル者有ラハ予等
個日ヲ
過リス為ニ其額ヲ償フ可シ故ニ本船出港ノ免許ヲ
乞フ

上海一千八百七十一年月日

船
信

海關副長
貴下

第十八號

船ノ書類ハ之ヲ船長

ニ歸附スル

當關己ニ故障之無シ

上海一千八百七十一年月日

海關副長

國領事
貴下

第十九號

左件ノ船舶進口シ當局指令ノ位置ニ碇泊シタリ是
報知ス

於上海港長局

一千八百七十一年月日

港
長

海關副長
貴下

第二十號

發船港

國

文
頭
執

第 號

船

噸 稅

輸入稅額

顧書
番号 輸入主

本稅

兩 錢 分 厘

半稅

兩 錢

分

厘

兩 錢

分

厘

納日

納日

兩 錢 分 厘 一千八百七十年 月 日

於 港 收 納 之

第二十一號略之
第二十二號

第 號

國

船

發 稅 港

無稅品類

頭書番号

輸入主

貨物

無稅免稅或稅移之別等

第二十三號

其商社輸入

貨稅猶未納ラズ乞フ速ニ

其收票ヲ當課ニ送レ是告ク

大
正
十
二
年
十
一
月
二
日

上海一千八百七十年 月 日

海關收稅課

第二十四號

運船港

國

第 稅

船

輸出稅額

頭書 船主 本稅 兩錢分厘 此內運稅 兩錢分厘 納日

第二十五號

第 稅

國

船

運船港

再出品類

輸出日 輸出主 箇數 貨物 外國或內國之別等

第二十六號

上海港ヨリ

港ニ通航ス

海關稅則

船、回着貨物、目錄

上海 第 一 號 入 港 日

貨主 直數 貨物 入量 免稅、物或 返稅、列等

第二十七號

返稅案記

交割日

貨物

貨主 貨物 交割日

返稅證書

此係關於二十萬、而、上海、關、
 買賣、下、貨、主、交、付、之、旨

第二十八號

通納返稅案記

輸入船

輸入主

貨物

金額

事由

交割日

再出船 金額

再出船 金額

上海、關、
 返稅、課、印

通納返稅證書

輸入船

輸入主

貨物

金額

事由

交割日

上海、關

返稅課負

海關稅則

第二十九号

第 號

水傷物品返税案記

輸入船

輸入主

箇數	入量	種類	元價	公賣高直	損金差分	返税金額
	斤量					

通計

交割日

第 號

此項案記... 証書也

輸入船

輸入主

箇數	入量	種類	元價	公賣高直	損金差分	返税金額
	斤量					

通計

返税課

於上海ヶ關

一千八百七十 年 月 日

日第二十號至三十六號皆略之

第三十七號

第 號

出口目錄

大文頂典

海關
申報

船	國	第	船	船	載	遣	輸	輸	貿	全 收 納 額	其 送 稅	船 ヨ リ 收 入 セ レ 輸 出 入 税 及 噸 税 等 書 面		
長	號	號	長	貨	船 港	入 税	出 税	易 稅	入 返 稅				噸 稅	合 計
						外 國 人	外 國 人		外 國 人				免 稅	內 國 人

ノ
如
レ

上海一千八百七十一年月日

出
港
課

海
關
副
長

第三十八號及第三十九號附之

第四十號

上海、關一千八百七十一年月日

入
港
船

番
号
船
長
國
船
形
噸
數
發
那
考
載
貨
船
倉

海關
申報

第四十一號

上海、關一千八百七十

年 月 日

出港船

船名	船長	國	船形	噸數	運船港	載貨	船價

第四十二號

稅額新定貨之記

品種

輸入主

輸入船

第 號

決論日

鑒價

新定稅額

其稅則

論說

第四十三號

從價納稅貨之記

品種

輸入主

輸入船

第 號

決論日

鑒價

論說

文庫

上海海關規則

第一 港界 港門ハ、漢字不詳、漢字方位ヨリ一線ヲ

吳淞漢字、漢字末流ノ右岸ニ在ル、漢字臺ニ畫シ以テ之

ヲ内外ノ境界トス

第二 鑿船 海關駐吏ハ進口ノ船舶ヲ監視シ且其

入港或ハ出港報告ノ後之ヲ検査スルノ權ヲル可

シ

第三 船泊場 外國船舶ノ碇泊場ハ東門灣英名イ

リス、トヨリ港長局ニ屬スルナブイ船ノ間タル

可シ

第四 入港報告 船長ハ進口二十四時以内目録領

事若英國領事置カレハ海關ニ其船者ト輸入目録トヲ収メ且

四十八時以内海關ニ入港報告ヲ為ヌ可シ但此時

限此例式ヲ怠ラハ其罰金ヲ命スル約書ノ如クタル可シ

第五 輸入目録 海關ニ收ル輸入各貨ノ目録ハ船

長之ニ記名シ以テ其誤脱ナキヲ証ス可シ但誤脱

アリ比之ヲ出シタル時ヨリ二十四時以内其百ヲ

自訴スルニ於テハ罰金ヲ徴サスシテ之ヲ改正マ

レム可シ

故ニ海關ヲ欺ントシラ不正ノ目録ヲ出カハ為ニ

上百兩ノ罰金ヲ命スル約書ノ如クタルヘシ

船載各貨ノ内地港ニ轉漕スハキ者アラハ之ヲ區

別シテ目録ニ騰記スヘシ

第六 船貨ノ載卸 特別ノ許可ヲ得ルノ外商貨或

ハ假貨、沙石ヲ載卸スルハ總テ船泊場内トシ其



此類

之ヲ載卸スルノ時間ハ日曜及祝日ヲ除キ常ニ日出ヨリ日没ニ至ルマデタル可シ

第七 貨物ノ輸入 貨主各目海關ニ輸入願書ヲ出スハ本船入港報告ヲ為シ輸入目録ヲ收メタル後タル可シ

輸入願書ニハ貨物ノ記號個數斤量入量其他書式ノ如ク其條件ヲ記載シ其之ニ交單ヲ附載スヘシ此交單ニハ海關ノ檢印ヲ受ケ之ヲ船長ニ附シ以テ其貨物ヲ卸スヘシ但檢印ヲ經ナル交單ヲ以テ貨物ヲ卸サハ其貨物ヲ没收シ且船長ヨリ罰金ヲ追徴ス可シ

第八 貨物ノ輸出 輸出願書ヲ海關ニ出スハ本船悉ク其載貨ヲ卸シ官吏ノ檢査ヲ經タル後タルヘ

レ願書ニ記載スル條件ハ輸入ノ例ト同一ニシテ之ニ添ヘニ其載單ヲ以テスヘシ但此載單ニ檢印ヲ受クマレテ漫ニ輸出シタル貨物ハ之ヲ没收ス可シ

第九 貨物ノ載積 船内填滿為ニ載了シ難キ貨物ハ預海關ノ許可ヲ得テ之ヲ再入ス可シ

第十 輸出口録 商船輸出貨物ヲ載了セハ船長或ハ船倉ヨリ其目録ヲ收ムヘシ但此目録ニハ各貨ノ個數記號種類及入量ヲ記載ス可シ

第十一 貨物ノ移載 一船ヨリ貨物ヲ一船ヘ移載スルニハ豫海關ノ免許ヲ受ケヘシ但漫ニ移載シタル物品ハ之ヲ没收ス可シ

第十二 噸稅 噸稅ハ其船進口四十八時ヲ過サス

此類

之ヲ収ム、レ但假令一個ノ物品タリ、其之ヲ載卸セ
ト要セハ、時限ニ係ラズ、先其噸税ヲ納ム可シ

第十三 出港報告 商船出口報告ニハ、海關ノ檢印
レケレ、交單ト載算トヲ送納スヘシ

此兩單ト其輸入又輸出ノ目錄ト查照シ、且噸税及
貨税ノ遺漏有無ヲ點檢シタル後、出港許狀ヲ附具
ス、レ但領事ハ、此許狀ヲ証トシテ、其船書ヲ返却
スル也

第十四 開關時間 海關ハ、日曜及ヒ祝日ノ除ク、
外午前十時ニ開キ、午四時ニ閉ス、レシ

海關事務ニ係リ、特別ノ免許ヲ乞フ者ハ、直ニ其願
書ヲ關長ニ上呈ス可シ

上海一千八百六十九年九月二十日

海關長官

上海澳港規則

第一則 各外國船ノ碇泊場ハ、東門灣ト、クリイキ
ヨリ港長局ニ屬セル、ナブイ船ノ間タル可シ

第二則 進口ノ各船ハ、ナブイ船ニナル港吏之レニ
移乘シ、其碇泊場ヲ指ス、レ故ニ水導汽船ハ、ナブ
イ船則チ停リ、以テ港吏ヲ本船ニ移乘セシム可シ
河内或ハ近海往來ノ汽船及郵船等、其碇泊場ノ定
リタルハ、此例外タル可シ

第三則 各船港長ノ免許ヲ得スレバ、漫ニ其碇泊場
ノ轉セサル可シ

第四則 各船進口ニ臨ミ、其碇泊場ヲ探シ、或ハ碇
ノ後、其碇泊場ヲ變メ、ト要セハ、船長若クハ之



亞ク者若クハ水導人ヨリ其百ノ港長或ハ港吏ニ
詠ハ其指揮ヲ受ク可シ

第五則 各船日没ヨリ大明ニ至ルマテノ間ハ前橋
、架古ニ燈火ヲ點ス、レ但架ナキ船ハ前橋或ハ
其右側ノ繩梯ニ之ヲ掲ク可シ

第六則 各船互ニ其錨鎖ヲ縮ク以テ他船ノ障碍ヲ
防ク、レ但大陰ノ蓋處即大潮満乾ハ最注意スルヲ
要スル也

第七則 各船港長ノ免許ヲ得スレバ、大砲或ハ小
銃ヲ發放セサル可シ

第八則 普通貨物ノ外火藥或ハ爆發性品ヲ載来レ
ル商船ハ港外河下、在ル火藥倉船ノ側ニ投錨シ
且赤旗ヲ前橋ニ掲ク、レ但此章程ハ火藥倉船規

則中ニ詳ニナリ

第九則 傳染病者ナル船舶ハ河下港界ヨリ一マイ
ル以來ニ停止シ且黃旗ヲ前橋ニ掲ク、レ但港長
ノ免許ヲ得サレバ假令一人タリ且登陸或ハ上船
セシメサル可シ

第十則 各船漫ク假貨ノ沙石或ハ石炭ノ灰滓ヲ河
中投棄セサル可シ

第十一則 各船非常ノ事アルニ臨ニ錨鎖ヲ伸縮ス
ル具最速ナルヲ要スルナリ故ニ豫其用ニ供スル
水夫ノ準備無ル可カラズ

第十二則 進口スル各船ハ「ゲブ、ブーム」船首ニ突出
シタル三角
形既ニ張ルヲ歛入ル、レ又碇泊中ハ論ナク出口
スルニ亦河道十リ九ヲ起サ、レハ之ヲ伸出ス可

カラス

第十三則 第二第三及第四ニ掲示セル如ク港長或
港吏ヨリ指令シタル碇泊場ヲ守ラサル船長ハ水
導規則第十條ノ二節ニ従ヒ之ヲ奏置ス可シ
港長局ノ指令ニ應ジ碇泊シタル証書ナクシテハ
海關本船ノ進退及載貨ノ出入ヲ許サズ可シ
其他此規則ニ乖反セハ其國領事之ヲ懲治スルノ
理ナル可シ

方ハ本港ノ各國領事ト商會トノ間ニ協議決定セリ
各船舶長其之ヲ遵守セヨ

於上海港長局

一千八百六十九年三月

港長デ、ビ、レン、ル

附録

布告

風雨ノ將ニ起ラントスルハ海關前岸ニ繫ケル會船
ニ於テ信砲ヲ放チ或ハ之ニ號旗ヲ掲グヘシ敢テ告
ヲ各船舶長之ヲ見聞セハ速ニ其防禦ノ準備ヲ為ス
ヲ急ルカレ

各船舶長航海上左件ノ珍事ニ遭遇セハ本港ニ進
入スルハ直ニ其旨ヲ港吏或ハ近海及港内ノ水導者
ニ告知スルヲ要ス

暗礁

淺處

小峽

沈没船

大頭典

困難船

號船ノ遷移シタル

號燈ノ照明ナラサル

船中ノ分舵或ハ火止

航海中ノ不好天氣及大風

各船舶長若シ水導者ヲ得ル能ハサル事有ル歟或ハ之ヲ得ルニ猶其職ヲ盡カサルカ如ク若アラハ連ニ其百ヲ沫長ニ告誡スルヲ要ス

港長ハ前除ノ如キ際害ヲ匡正スル為メ本局ヨリ出シタル港事ノ閉スル布告或ハ各船ヨリ得タル船事ニ係ル教知及各水導者ノ姓名ヲ記録セリ

茲ニ火輪船長ニ教示スル一大事件アリ他ナレ夜中潮ニ乘シ吳淞江ニ上ル是也就中春分ハ尤危シトス

假令春分ナラバ戸暗夜ニハ殊ニ心ヲ用ルヲ要ス數隻ノ船ヲ破リ衆人ノ命ヲ斃テシテ己ニ其例抄ヲササルナリ

船中死亡ノ者アリハ其船ニ限リ旗章ヲ帆柱ノ中央ニ下メ、シ（註）此例ニテラズ但シ目録ノ船例ト然ラサルハ則數十船舶混全彼是辨シ難ケレハ也

寮波海關規則

第一則 本港ハ「チアウブウ」（漢字）山ヨリ一直線ヲ鎮

海近山ニ畫シ以テ之ヲ内外ノ境界トス此線内ニ進入スル船舶ハ則着テ入港シタルモト做ス可シ

第二則 船舶進口セハ監吏之ニ乗ルテ當然タル可

第三則 船貨ヲ載卸スルノ英國人民ノ基所ト舟楫
及鹽門渡ノ間ニ限ルヘシ此境内ニ碇泊セシ船舶
ハ海關ノ免許ヲ得スレテ渡ニ其場所ヲ變セサル
可シ

第四則 港門ニ進入セシ船舶ハ四十八時以内其船
書ト輸入貨録ノ自國領事ニ收ムヘシ若其國領事
ヲ置カカレハ直ニ之ヲ海關ニ納ム可シ

第五則 輸入目錄ハ各貨ノ個數記號番號等漏レナ
ク之ニ記載シ且其數滿ナキヲ証スル為船長之ニ
記名スヘシ若其誤寫アルヲ覺知セハ二十四時ヲ
過サス之ヲ訂正マ可シ

第六則 商貨或ハ假貨沙石ヲ載卸スルノ時間ハ日

出ヨリ日没ノ限リトマ日曜或ハ祭日ニハ特列ノ
免許ヲ一非ルヨリハ一切船口ヲ閉カサルヘシ

第七則 卸貨ノ事例ハ貨主其條件ヲ細記レタル輸
入類書ヲ海關ニ呈シ輸入免狀ヲ得以テ其貨物ヲ
本船ヨリ卸シ且之ヲ海關馬頭ニ上ケ其検査ノ受
クヘシ此検査ヲ經タル後海關ヨリ稅券ヲ乞ヒ之
ヲ以テ海關銀箱ニ其稅ヲ交付シ收票ヲ得之ヲ海
關ニ收メ更ニ納稅証書ヲ受ケ以テ其物件ヲ採取
ス可シ

第八則 載貨ノ事例ハ其輸出類書ヲ海關ニ呈シ且
内地ヨリ之ヲ運出シタル各關ノ許狀ヲ收メ關稅
ノ漏脱ナキヲ証スヘシ貨物ハ之ヲ海關馬頭ニ出
シ其検査ヲ受ケヘシ而シテ海關ノ稅券ヲ以テ稅

金ヲ海關銀數ニ交附シ且其收票ト海關ノ納稅証書ト交換レ以テ其物品ヲ本船ニ送致スヘシ

第九則 輸出ノ物品若本船故障アリテ今之ヲ載レ難ハサレハ其殘箇ヲ海關碼頭ニ送送シ検査且免許ヲ經テ後之ヲ收受ス可シ

第十則 出口セント要スル船舶ハ豫其輸出目錄ヲ海關ニ取ル可シ

第十一則 兩船貨物ヲ移載スルニハ特別ノ許狀ヲ受ク可シ

第十二則 再出貨物ノ返稅証書或ハ免稅証書ハ其輸出免狀ト共ニ之ヲ交換ス可シ

再入貨物ノ免稅証書ハ其輸入願書ト共ニ之ヲ上呈ス可シ

第十三則 船舶漫ニ其假貨沙石ヲ投棄スルヲ許サス若シ之ニ違背セハ五十兩ノ罰金ヲ追徴スヘシ

第十四則 船舶大砲小銃ノ別ナク漫ニ之ヲ發放スルヲ禁マ若シ之ヲ犯セハ五十兩ノ罰金ヲ課スヘシ

其他此規則ニ悖反セハ約書ヲ契ラシテ罰金ヲ命ス可シ

第十五則 開關時間ハ朝十時ヨリ夕四時ニ至ルマデトス但日曜及祭日ハ此例外タル可シ

第十六則 進口ノ船舶ハ監吏長ノ指教ニ從ヒ碇泊ス可シ但フライングデブ、三及デブ、ブーム

說上、海、運、規、則、中、見、ユ、ノ、飲、入、レ、出、口、ス、ル、時、ニ、テ、之、ヲ、張、出、ス、可、ク、ス

正業

ロウル、ヤルド下航ハ之ヲ引揚ク可シ

船舶前後相連リ碇泊セハ其首尾ヲ河ノ東西ニ向

ケ以テ小舟ノ通行ヲ妨テアルヘシ船尾ニ小舟ヲ

離置レ以テ他船ノ障碍ヲ為サ、ルハシ

港内・碇泊マ、ル船舶ハ總テ河ノ中央及浮標ノ線

ヲ避ク可シ

海関ニ呈スル類書ハ都テ関長ニ送テ之ヲ出ス可

シ

一千八百

寧波海關長リラーナル

天津海關規則

此海關規則ハ海關總督ノ檢閲ヲ經且其命ニ因ラ之

ラ各國船長ニ布告ス

一千八百六十七年五月一日

天津海關長トリス、ディンキ

第一 各船卸貨ノ為之ニ許可スル碇泊ノ場所左ノ

如シ

沙線外ハ沙線外ヨリ海濱三マイルヲ限リトス可

シ

大沽ハ河口ノ砲臺ト、ハイセン漢字ノ間タル可

シ

天津ハ南リンチア漢字ヨリ海關馬頭ノ北ニ在

ル第一號ノ造船場ニ至ルマテ界トス可シ

第二 進口ノ各船ハ天津大沽ノ列ナク港更ノ指示

ニ從ヒ其碇泊場ヲ定ム可シ

第三 船長ハ船書ヲ自國領事若領事ナクハ海關ニ收ム可

文頭

シ領事ハ其船書ヲ納メタル告書ヲ海關ニ送ル可
 シ
 此時間ハ本船沙線内ニ碇錨セレバヨリ四十八時
 ヲ限リトス假令吃水深ク入津スル能ハマシテ沙
 線外ニ碇泊スルル七十二時ヲ過サ、ル可シ
 船書ハ天津ニ於テハ直ニ之ヲ領事ニ收メ大沽ニ
 於テハ假ニ之ヲ海關ニ納ム、シ大沽海關之ヲ天
 津領事ニ送シ領事之ヲ接シ更ニ其告書ヲ海關ニ
 送ル等其序次前ニ言フセシ
 輸入目録ハ通常開船免許ヲ乞フノ前之ヲ海關ニ
 呈スヘシト雖、モ領事ヨリ船書ヲ收メタル告書
 ヲ得ハ船長ノ願ニ應シテ其免許ヲ與フヘシ
 船長定限ノ時間ヲ超過シテ積書類ヲ海關ニ出サ

、ノハ條約ヲ照ラシテ其懈怠セル日毎、五十兩
 ノ罰金ヲ充ツヘシ但共領ハ二百兩ヲ限リトス
 輸入目録ハ各貨ノ條件ヲ詳記ス、ヘシ若此目録ニ
 欺偽ノ所為ナルニ於テハ條約ニ基キ船長ヨリ五
 百兩ノ罰金ヲ追徴ス、ヘシ目録ヲ海關ニ出シタル
 後船長其誤寫アレバ覺リ之ヲ出シタル時ヨリ二
 十四時ヲ起サ、改正ヲ乞フニ於テハ罰金ヲ收ル
 、マハナル可シ
 免許ヲ得ムレテ貨物ヲ卸シタル商船ハ條約ノ如
 ヲ船長ヨリ五百兩ノ罰金ヲ追徴シ且物品ヲ没収
 ス可シ

第四 吃水深クシテ沙線上或ハ河中ニ膠シタル商
 船ハ其船長ノ請求ニ應シ天津或ハ大沽ノ海關ヨ

リ船載ヲ輕クシ、ハキ便利ヲ興フ可シ

第五 商船危難ヲ防ク、外假令吃水ヲ淺クスル為
ナリテ漫、其載貨ヲ他船ニ移スヘカラス若免許
ヲ得ズンテ船貨ヲ移載セハ條約ニ從キ其物件ヲ
没入ス可シ

第六 輸入品ヲ卸シ了ラサレハ輸出品ヲ載スルヲ
許サスト雖モ本船吃水淺クシテ危險ナリト思ハ
ハ其旨ヲ出願スヘシ為、特別ノ免許ヲ與フヘシ

第七 大沽ヨリ天津ニ赴ル各船ハ大沽海關ノ監吏
其船口ヲ固封ス可シ

大沽及天津、碇泊セル各船ハ海關監吏毎日夕六
時其船口ヲ閉シ朝六時之ヲ開ク可シ
天津ヲ發スル各船ハ其起碇スルニ臨キ海關監吏

船口ヲ固封スヘシ此固封ハ大沽ヲ通過スルニテ
之ヲ破却スヘカラス是船長ノ責任ナリ

第八 前條ノ規則ハ何等ノ船舶ヲ論セス之ヲ固守
セザレハカラスト雖モ唯輪船ニ限り左件ノ便利
ヲ與フ可シ

天津、進口レシ四十八時ヲ越ス直ニ其海關ニ入港
報告ヲ為サント要スル輪船ハ大沽海關ニ於テ船
口ヲ報スルニ及ハスト雖モ其報告ヲ出シ且兼送ノ
監吏ヲ乘ラスル為替之ニ停止スヘシ

夜中天津ニ進口レタル輪船ノ船長或ハ船倉ヨリ
其旨ヲ水巡監吏ニ告訴シ且之ニ輸入目録ヲ交附
セハ翌朝六時ヨリ載貨ヲ卸却スル妨ケラント雖
其日午時以前領事秘書ヲ收メタル報告ヲ送致セ

カレハ海關其免許ヲ廢止スヘシ
日没後貨物ヲ載卸セント要クル輪船ハ船長或ハ
船僧ヨリ其願者ヲ海關ニ出ス、シ海關之ヲ免許
ス。ハ夜八時ニ至ル迄ハ五元墨銀下全徹頁ハ十元ノ
謝銀ヲ收受スヘシ
輪船ハ其輸入品ヲ卸シ了ラサル前、雖輸出品ヲ
載スルヲ得サレト可シ

第九 噸税ハ艙口ヲ開カントスル時或ハ貨物ヲ卸
サ、ル比入港ヨリ四十八時ニ及ヒ又ハ沙線外ニ
碇泊スル者ハ其投錨ヨリ七十二時ニ滿ルヲ期限
トシ之ヲ上納ス可シ
支那各港日本安南地方及太平洋海ノ魯西亞領ニ往
來スル船舶ハ四ヶ月間噸税免許ノ証書ヲ與フヘ

レ但其船海關ニ出港報告ヲ為シタル日ヲ起原ト
ス
第十 出港報告ノ船舶ハ其噸税及諸税ヲ漏サス取
納シタル後船長或ハ船僧ヨリ出口願書ト輸出目
録ヲ海關ニ呈シ以テ其免許ヲ受テ可シ但第七則
ヲ併見ル可シ

大蔵省上申

通日上海表税關規則翻譯致シ茲今相添全所長官ト
ヲマスチ、チ、キ氏夫全所存留品川代領事、被下物
其外、儀奉伺置朕處右被下物等、儀ハ書面ヲ以テ
御許可、旨御達相成承知仕候然ル處税關法則翻譯
ノ分参考、為ノ入用、事件候間御一覽濟ニ、相成
候ハ、至急御差下有之度此段奉申上候也 七月八日